



群馬パース学園短期大学

Gumma Paz Gakuen College

同窓会報

創刊号 平成15年11月28日発行

●団体概要（団体概要、連絡先等）

■団体名	群馬パース学園短期大学同窓会
■名誉顧問	学長 岡田了三
■役員	会長1名、副会長1名、書記2名、会計2名、庶務若干名、幹事2名
■事業内容	総会開催、名簿作成、役員会、講演会等
■事務局住所	群馬県吾妻郡高山村6859-251
■電話番号	0279 (63) 3366

会報第一号発刊によせて

理事長 樋口建介

群馬パース看護短期大学から、群馬パース学園短期大学に校名変更を行い開学後六年目に入った。

草創期の中で、看護学科、地域看護学専攻科そして理学療法学科の増設と極めて順調に推移してきた感がある。

卒業生も看護学科三期生、地域看護学専攻科二期生を世に送り出した。短期間であるがそれなりの評価を受けていると思う。

二年後、四年制大学改組に向けて教職員フル稼働中である。

このような中で、群馬パース学園短期大学同窓会会報第一号を、同窓生同志により発刊すると聞いて大変喜んでいる。

私は、今までほかか会25年と共に生きて、いくつもの「誕生」の喜びを経験してきた。

そして今、同窓会報発刊と同窓会及び大学の一層の充実発展を期待するものである。

群馬パース学園短期大学同窓会報発刊によせて

学長 岡田了三

群馬パース学園は前身の群馬パース看護短期大学の開校以来、本年2003年には6年の歴史を刻むことになりました。

2001年には地域看護学専攻科、2002年には理学療法学科の増設があり、学校名も変更となりました。その間、卒業生として看護学科の第1期生・2

期生・3期生、専攻科の第1期生・2期生を送り出し、今後続々と同窓生は増加することになります。学生時代に寮生活を共にした皆様が社会に出てからも、友情の絆を固くして同窓会を盛り立てて行かれることを切に希望いたします。

同窓会報発刊に寄せて

看護学科長 高木夕力子

同窓生の皆様 はじめまして
 今年の4月1日に着任しました。

素晴らしい大自然の中、自分の内面に目を向けながら、「知ることは楽しみなり」の生活とエネルギーにあふれた学生との出会いをまっています。研究テ

ーマは「野外生活体験学習」です。皆様はそれぞれの施設で、懸命に役割を果たそうとしてい

るときですね。困らなくともおいでください。ここは貴方の母校です。頼られる大学でありたいのです。

同窓会会報の発刊に寄せて

地域看護学専攻科長 梅林奎子

同窓会設立から早3年余が立ちとうとしています。その間に地域看護学専攻科、理学療法学科が設置され、更に17年度からは4年制大学に移行します。それだけに、同窓会の活発な活動がより期待されています。

同窓会の設立に際しては、看護学科第1期生で現会長の青柳氏、副会長の秋山氏他設立委員

と1期生全員の協力があつて現在に至っています。私も会報の創刊を心待ちにしております。

自分たちの卒業した大学が発展していくことは、卒業生にとっても喜ばしいことだと思えます。これからも大学の発展のために、ご協力をお願いすると共に、同窓会の益々の発展を願っております。

会報発刊に寄せて

理学療法学科長 松澤 正

近年の卒業生の中では、同窓意識が薄れ、同窓会を維持するのが難しくなっている。しかし、新設校においては、学校を発展させるには同窓生の力が必要である。同窓生が大学や同窓生同志の情報交換により、大学から

は、新しい医療情報の提供を、同窓生からは、求人情報や現場の医療情報、悩みが示されることにより、お互いの問題解決に役立つような同窓会の組織になるよう期待している。

同窓会設立と会報発刊によせて

学生部長 武田淳史

この度は、いよいよ「群馬パース学園同窓会」ご創設の由、誠におめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。また、会報第一号発刊の準備も進んでいるとの事、かさねて祝着に存じます。この同窓会設立とともに、教職員、卒業生、在校生が力をあわせ「群馬パース学園」

が、未来に向かい、さらに益々発展されます事を願います。特に同窓会長青柳直樹様には、同窓会会報の準備でお忙しい事とは存じますが、今しばらく奮闘努力され、この同窓会が、ご成功の途を歩まれんことを祈り上げます。

会報発刊に寄せて

看護学科一期生 玉造智之

今、神奈川県相模原市という所に住んでいます。都会でもなく田舎でもないところで、都心まで1時間位で住みやすい所です。現在、北里大学病院の整形外科病棟に勤めています。整形外科のイメージは怪我しただけで元気な人が多いと思っていました。様々な病気を抱えている患者様が多いです。また、クリティカルパスを導入して入り入院期間が短縮し、短時間で質の高いケアを提供しております。看護師としてまだまだ半人前

ですがよい看護が提供できるよう頑張ります。また、今回創刊された同窓会報第1号発刊おめでとうございます。私、玉造智之が第1号を飾るなんて・・・とても感激です。卒業生のみなさん元気ですか？群馬で過ごした3年間はとても良い思い出として残っています。群馬の風景とみなさんの顔が懐かしく思えます。同窓会の時は必ず出席します。みなさんに会える日を楽しみにしています。

教職員の名介

学 理 事 長	樋口 建介	学 科 長	岡田 了三	老年看護学 講師	山田ノリ子	助 手	小林 和成
学 科 長	高木夕力子	医療と医学 教授	栗田 昌裕	助 手	高橋ゆかり	事務局長	永田 榮一
基礎看護学 教授	鹿村真理子	小児科 教授	青山 正征	事務係長	関 妙子	総務・会計課長	宮田喜美雄
社会保健制度と生活者の健康 教授	内藤 和美	看護学 助教授	江口 勝彦	総務・会計課	中山かおり	木村 恒明	岡部 豊二
疾病の成り立ちと回復の促進 教授	武田 淳史	看護学 助教授	江口 勝彦	総務・会計課	関 妙子	木村 恒明	岡部 豊二
小児看護学 助教授	中垣 紀子	健康学 助教授	近藤 照彦	教 務	関 妙子	木村 恒明	岡部 豊二
成人看護学 助教授	矢嶋 和江	物理療法学 講師	柴田 雅祥	学 生	関 妙子	木村 恒明	岡部 豊二
解剖生理学 助教授	澤田 只夫	発達臨床心理学 講師	目黒 力	学 生	関 妙子	木村 恒明	岡部 豊二
母性看護学 講師	石沢 教子	助 手	北川 公路	学 生	関 妙子	木村 恒明	岡部 豊二
解剖学他 講師	小林 圭一	助 手	橋立 博幸	学 生	関 妙子	木村 恒明	岡部 豊二
成人看護学 講師	北林 司	助 手	橋立 博幸	学 生	関 妙子	木村 恒明	岡部 豊二
成人看護学 講師	秋山 美加	助 手	橋立 博幸	学 生	関 妙子	木村 恒明	岡部 豊二
基礎看護学 講師	保坂さえ子	助 手	橋立 博幸	学 生	関 妙子	木村 恒明	岡部 豊二
英語 講師	川口 恵子	助 手	橋立 博幸	学 生	関 妙子	木村 恒明	岡部 豊二
英 語 講師	川口 恵子	助 手	橋立 博幸	学 生	関 妙子	木村 恒明	岡部 豊二

会報発刊に寄せて

地域看護学専攻科二期生 西原雄一

私は今、高崎市役所の介護保険課で保健師として働いています。高崎市内を地区別に分け1つの地区を1人で受け持っています。

仕事内容は、介護保険の対象者の訪問や介護保険の申請を行った方の1次調査を行う事が主

な仕事です。実際に現場に入ることによって、授業で学んだことの重要さを感じています。職場では優しい先輩方に恵まれ、充実した毎日を送っています。同窓会でみんなが集まれることを楽しみにしています。

学校法人 群馬パース学園の沿革

平成6年8月1日	群馬パース看護短期大学の設立準備完了
平成8年6月14日	大蔵省より準備財団法人の認可を受ける
平成8年7月22日	文部省より準備財団法人の認可を受ける
平成9年12月19日	文部省から短期大学設置認可、寄付行為認可を受ける
平成10年3月17日	群馬パース看護短期大学の第1期学生寮完成（あかねのみ寮）
平成10年4月7日	群馬パース看護短期大学の第1回入学式挙行政
平成10年4月11日	群馬パース看護短期大学竣工記念式典挙行政
平成11年2月23日	群馬パース看護短期大学の第2期学生寮完成（なすな寮）
平成11年7月30日	群馬パース看護短期大学の第2期学生寮完成（なすな寮）
平成12年2月15日	群馬パース看護短期大学の第3期学生寮完成（はこべ寮）
平成12年8月22日	群馬パース看護短期大学の第3期学生寮完成（はこべ寮）
平成12年12月21日	複合施設美郷医学研究所の竣工式典挙行政
平成13年3月4日	文部省から地域看護学専攻科（保健科）の設置認可を受ける
平成13年4月7日	群馬パース看護短期大学の第4期学生寮完成（あざみ寮）
平成13年4月26日	群馬パース看護短期大学の3周年記念式典挙行政
平成13年4月26日	学校法人群馬パース学園の3周年記念式典挙行政
平成13年12月20日	地域看護学専攻科の第1期生の入学式挙行政
平成14年2月21日	文部化学省に群馬パース看護短期大学の理学療法学科増設学科申請提出
平成14年4月1日	文部科学省から理学療法学科の設置認可を受ける
平成14年12月20日	群馬パース看護短期大学の第5期学生寮完成（こまぐさ寮）
平成15年3月26日	群馬パース看護短期大学のあざみ寮10棟増築
平成16年12月22日	学名変更（群馬パース看護短期大学より群馬パース学園短期大学に変更）
平成17年4月	理学療法学科の第1期生の入学式挙行政
平成17年4月	文部科学大臣より 高崎校舎設置認可
平成17年4月	群馬パース大学開学記念式典挙行政予定
平成17年4月	群馬パース大学開学予定

群馬パース学園短期大学 同窓会会長コメント

本学同窓会は、樋口理事長、岡田学長より多大なる援助をいただき、多数の群馬パース学園短期大学教職員の方々および卒業生の出席のもと平成14年2月27日に開催された同窓会設立総

会において、設立されました。会報の発刊におきましては同窓会年間事業の一環であり、群馬パース学園同窓生の絆を深め、母校の発展につながればと考えます。

同窓会役員紹介

会長	青柳 直樹
副会長	秋山木の実
書記	綱川千寿子 茂木佐知代
会計	楯 綾子 松本 圭子
庶務	大島 由香 大淵 悠
監査	辻 玲香 長谷部裕子
幹事	及川 洋 望月 昭 山下 亜紀

総会開催のお知らせ

日時 平成16年2月22日(日)
14時～17時
場所 高崎サンパレス
会費 3,000円
司会進行 群馬パース学園同窓会役員

総会を右記日程で開催いたします。同封致しました返信用はがきにて1月31日までに出席の有無をご返事下さい。是非ご出席下さいますようご案内申し上げます。

終身会費納入のお願い

本同窓会は、群馬パース看護短期大学、群馬パース学園短期大学の卒業生である同窓会員の皆様の終身会費で運営されております。終身会費未納入の会員の皆様へ下記の口座（郵便局・通常貯金）まで納入のご協力を重ねてお願い申し上げます。

口座名 群馬パース看護短期大学同窓会
口座番号 10470-23679041
終身会費 20,000円



群馬パース学園短期大学同窓会会報第一号発刊にあたり、ご指導ご協力いただきました梅林先生、事務局職員の皆様方に同窓会役員一同心より感謝いたします。

今後の会報発刊においても同窓生の絆をより深められるよりよいものを掲載させていただきますと役員一同考えています。会員の皆様に会報へのご要望等ありましたら同窓会事務局までお願いいたします。

最後に同窓会の設立以来年間の事業計画である総会開催、会報発刊が遅れましたことをこの場を借りて深くお詫び致します。

